

埋蔵文化財センター 常設展示室のご案内

旧石器時代のコーナー



今から約45,000～16,000年前、冷涼な気候の中で、人々は食料や石器の材料などを求めて、移動しながら生活していました。石の性質を巧みに利用し、計画的に無駄なく石を割って作った石器を展示します。

西刑部西原遺跡出土の旧石器



埋蔵文化財センター 1階平面図

埋蔵文化財センターの仕事のコーナー

「どうやって昔の家の跡をみつけるのですか?」、「文字のない時代の年代はどのようにして分かるのですか?」などなど、発掘調査の手順や考古学の方法について、分かりやすく解説します。

特集展示

栃木の遺跡

平成 27 年度 巡回展

- 県南会場：埋蔵文化財センター
平成 27 年 11 月 1 日 (日)
～12 月 27 日 (日)
- 県北会場：なす風土記の丘資料館
・第 1 会場：那珂川町なす風土記の丘資料館
・第 2 会場：大田原市なす風土記の丘湯津上資料館
平成 28 年 2 月 13 日 (土)
～4 月 3 日 (日)

埋蔵文化財センター常設展示室オープンと併せて、発掘調査速報展を開催します。昨年度に、県および県内市町で発掘調査、または報告書としてまとめられた遺跡の紹介と、出土遺物を展示します。



横倉戸館古墳群出土の土師器壺

縄文時代のコーナー



三輪仲町遺跡出土の縄文土器

荻ノ平遺跡出土の土偶

気候が温暖となり、森林が発達しました。煮炊き用の縄文土器や弓矢などの道具を発明して、森林から多くの食材を得て生活を安定させました。土偶など独特の儀式用の道具も作りました。一万年以上続き、現在の我々の生活の礎となった縄文文化を紹介します。

弥生時代のコーナー

栃木県では弥生土器に縄文がついています。銅鐸などの青銅器や石包丁は発見されていません。白骨化した骨を壺に収めて再び埋葬する「再葬墓」など独特の埋葬法もみられます。西日本と異なる栃木県の弥生文化を紹介します。

古墳時代のコーナー



菅田古墳群出土の西赤堀遺跡出土の銅鏡
勾玉やイヤリング

県内最大の前方後円墳である吾妻古墳の展示のほか、ムラの跡や豪族の館の跡などから出土した遺物を展示し、豪族の統治の下で、地域の開発が進められた時代の様子を紹介합니다。

飛鳥・奈良・平安時代のコーナー

中国から律令制度を取り入れ、日本の国のかたちができあがった時代です。栃木県(当時の下野国)は、都から派遣された国司が着任した役所の遺跡(国府跡)がよく保存されていることで有名です。また、都と地方を結ぶ東山道跡と考えられる道路の跡も県内各地で発掘されています。中央集権国家を象徴する遺構や遺物を紹介します。



磯岡北遺跡で発見された推定東山道跡